

所沢市国土強靱化地域計画

アクションプラン

2025~2028

目次

第1章	アクションプラン 2025～2028	
1-1	策定の趣旨	1
1-2	重点事業	1
1-3	所沢市総合計画との関連性	17
第2章	進捗管理	
2-1	行動指標の達成状況	18
2-2	重点事業（2023～2026）の事務事業評価	21

第1章 アクションプラン 2025～2028

1-1 策定の趣旨

所沢市国土強靱化地域計画（以下「地域計画」という。）の着実な推進を図るため、重点的に進める事業を選定するとともに、進捗管理を行うための行動指標を設定した「所沢市国土強靱化地域計画アクションプラン」（以下「アクションプラン」という。）を定め、地域計画を推進していくものであります。

地域計画は、総合的かつ計画的な市政運営を図るために策定している「所沢市総合計画」と整合・調和を図りながら進めていくものとなります。

そこで、アクションプランは所沢市総合計画実施計画と同様、4年計画とし、毎年見直しを行うものとしします。

1-2 重点事業

地域計画を進めるにあたって重点的に進める事業を重点事業として定めることとします。重点事業については、次ページのとおり整理しています。

【重点事業一覧】

◆国土強靱化地域計画アクションプラン(2025～2028)の各重点事業

No.	事業名及び概要	所管課
1	デジタル同報系防災行政無線システム更新事業	危機管理室
2	まちづくりセンター施設整備事業 (山口公民館太陽光発電設備設置事業)	地域づくり推進課
3	公共施設太陽光発電設備設置事業	マチごとエコタウン推進課
4	第2一般廃棄物最終処分場整備事業	資源循環推進課
5	浄化槽整備補助事業	資源循環推進課
6	ファルマン通り交差点外無電柱化整備事業	市街地整備課
7	所沢駅ふれあい通り線道路築造事業	所沢駅西口区画整理事務所
8	所沢駅西口区地区まちづくり事業	所沢駅西口区画整理事務所
9	所沢駅西口土地区画整理事業	所沢駅西口区画整理事務所
10	我が家の耐震診断・耐震改修補助事業	住宅政策課
11	市営住宅愛宕山団地1号棟施設整備事業	住宅政策課
12	北野下富線道路築造事業	道路建設課
13	所沢駅ふれあい通り線道路築造事業	道路建設課
14	河川・水路維持管理事業	河川課
15	市民医療センター再整備事業	市民医療センター 総務課
16	下水道管渠布設事業	下水道整備課
17	雨水貯留施設(雨水調整池)築造事業	下水道整備課
18	雨水管理総合計画策定事業	下水道整備課
19	下水道地震対策事業	下水道維持課
20	下水道ストックマネジメント事業	下水道維持課
21	屋内運動場空調設備設置事業	教育施設課
22	学校トイレ改修事業	教育施設課
23	学びの環境整備事業	教育施設課
24	小中学校校舎照明LED化事業	教育施設課
25	学校施設長寿命化改修事業 (公共施設マネジメント推進事業の一環)	教育施設課
26	滝の城跡整備事業	文化財保護課
27	指定文化財管理費等補助事業	文化財保護課

※網掛けは新規でアクションプランに追加となった重点事業です。

事業名及び概要	各年度	年度別事業概要
デジタル同報系防災行政無線システム更新事業 危機管理室	R7	デジタル同報系防災行政無線システム更新実施 (基地局、操作卓、Jアラート受信機等の更新)
【概要】 災害時における市民への情報発信手段であるデジタル同報系防災行政無線システムが耐用年数を経過することから、市役所本庁舎に設置している基地局、操作卓等を更新し、システムの安定稼働を図るものである。あわせて、緊急時の円滑な情報発信のため、市のほっとメール等への情報自動配信機能を追加し、システムの機能強化を図る。 また、令和5年7月の消防庁通知に基づき、ミサイル情報等の国からの情報を受信するJアラート受信機について更新を行う。	R8	
	R9	
	R10	
事業期間	令和7年度	

事業名及び概要	各年度	年度別事業概要
まちづくりセンター施設整備事業 (山口公民館太陽光発電設備設置工事) 地域づくり推進課	R7	太陽光発電設備設置工事
【概要】 所沢市公共施設長寿命化計画に基づき、太陽光発電設備設置及び屋根改修の設計を行い、太陽光発電設備を設置するものである。 これにより、二酸化炭素の排出削減に向けた再生可能エネルギーの活用を促進し、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与するものである。	R8	
	R9	
	R10	
事業期間	令和5年度～令和7年度	

事業名及び概要	各年度	年度別事業概要
公共施設太陽光発電設備設置事業 マチごとエコタウン推進課	R7	国庫補助事業「地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する公共施設への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業」の交付決定を受けた3施設について設置工事を行い電力供給を開始する。 同補助事業の採択を受けていない4施設については、補助申請を行い交付決定後に設置工事を行う。
【概要】 再生可能エネルギーの創出と電力使用におけるCO2排出量削減と災害時のエネルギー供給の機能を発揮させることを目的とし、7の公共施設に太陽光発電設備と蓄電池を維持管理業務を含めた包括リース方式で設置する。	R8	電力供給及び維持管理
【候補施設】 ▼国の補助事業「地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する公共施設への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業」採択済み施設 ①松井まちづくりセンター ②保健センター ③収集管理事務所 ▼今後同補助事業に申請予定の施設 ④中富南コミュニティセンター ⑤柳瀬保育園 ⑥リサイクルふれあい館 ⑦生涯学習推進センター	R9	電力供給及び維持管理
事業期間 令和6年度～令和17年度	R10	電力供給及び維持管理

事業名及び概要	各年度	年度別事業概要
第2一般廃棄物最終処分場整備事業 資源循環推進課	R7	処分場建設工事 処分場建設工事施工監理 その他整備に係る事業
【概要】 自区内処理の原則に基づき、市内から発生する一般廃棄物の最終処分先として、令和7年10月の供用開始を目指し、市内に新たな一般廃棄物最終処分場（「所沢市第2一般廃棄物最終処分場」(やなせみどりの丘)）を整備するものである。	R8	
	R9	
	R10	
事業期間 平成11年度～令和7年度		

事業名及び概要		各年度	年度別事業概要
浄化槽整備補助事業		R7	浄化槽転換(10基分)
資源循環推進課			
【概要】 専用住宅(主として居住を目的とした住宅)または兼用住宅(小規模小売店舗等を併設した住宅。ただし、居住部分の床面積が1/2以上であること)で単独処理浄化槽またはくみ取り便槽から高度処理型かつ環境配慮型の合併処理浄化槽に転換する者に(処理対象人員10人槽以下)工事費の一部を補助する。対象は公共下水道認可区域以外の区域等で浄化槽処理水が放流可能な場合等。		R8	浄化槽転換(10基分)
		R9	浄化槽転換(10基分)
		R10	浄化槽転換(10基分)
事業期間	平成5年度～		

事業名及び概要		各年度	年度別事業概要
ファルマン通り交差点外無電柱化整備事業		R7	電線共同溝整備工事
市街地整備課			
【概要】 ファルマン通り交差点周辺の無電柱化の整備を行うことにより、県が進める銀座地区の無電柱化と合わせて、旧町地区における災害時の通行の確保、歩行者の安全で快適な空間の確保や賑わいの創出などを旨とするものである。		R8	電線共同溝整備工事
		R9	連係管整備工事
		R10	連係管整備工事
事業期間	令和4年度～令和11年度		

事業名及び概要	各年度	年度別事業概要
所沢駅ふれあい通り線道路築造事業	R7	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県土地開発公社から買戻し ・所沢駅ふれあい通り線築造工事
所沢駅西口区画整理事務所		
【概要】 都市計画道路所沢駅ふれあい通り線は、主要地方道東京所沢線から所沢駅東口のくすのき台交差点までの延長780m、幅員20mの道路であり、鉄道と立体交差することにより、駅周辺の慢性的な交通渋滞の解消や東西市街地の一体化を図るものである。 このうち、県道久米所沢線から東村山第7号踏切(大踏切)の通りである市道1-525号線までの延長約200mについて、本事業により建設を進めるものである。	R8	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県土地開発公社から買戻し ・所沢駅ふれあい通り線築造工事
	R9	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県土地開発公社から買戻し ・所沢駅ふれあい通り線築造工事
	R10	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県土地開発公社から買戻し ・所沢駅ふれあい通り線築造工事
事業期間	平成28年度～令和14年度	

事業名及び概要	各年度	年度別事業概要
所沢駅西口地区まちづくり事業	R7	<ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケート調整業務
所沢駅西口区画整理事務所		
【概要】 所沢駅西口地区については、本市の表玄関にふさわしい魅力と活力ある街を創出するため、所沢駅西口土地区画整理事業との一体的施行による所沢駅西口北街区第一種市街地再開発事業を行うとともに、計画的な土地利用の誘導によるまちづくりを進めている。 また、人を中心にしたまちづくりの実現に向け、駅周辺の回遊性の向上を目指した歩行者デッキの整備とともに、所沢駅西口駅前広場の整備の検討を進めている。	R8	<ul style="list-style-type: none"> ・所沢駅西口駅前広場予備設計
	R9	<ul style="list-style-type: none"> ・所沢駅西口駅前広場実施設計
	R10	<ul style="list-style-type: none"> ・所沢駅西口駅前広場再整備工事
事業期間	平成13年度～令和10年度	

事業名及び概要	各年度	年度別事業概要
所沢駅西口土地区画整理事業 所沢駅西口区画整理事務所	R7	・道路(所沢駅ふれあい通り線及び中央通り線)等の整備工事 ・換地処分
【概要】 所沢駅西口土地区画整理事業については、本市の表玄関にふさわしい魅力と活力ある街を創出するため、所沢駅西口北街区第一種市街地再開発事業との一体的施行を行うなど、にぎわいと良好な住環境が両立する都市基盤の整備を進めている。	R8	・清算
	R9	
	R10	
事業期間	平成27年度～令和8年度	

事業名及び概要	各年度	年度別事業概要
我が家の耐震診断・耐震改修補助事業 住宅政策課	R7	住宅、特定既存耐震不適格建築物の耐震診断及び耐震改修費用の一部補助
【概要】 市内の住宅等の耐震化を図るため、民間建築物の耐震診断及び耐震改修費用の一部を補助するものであり、「所沢市建築物耐震改修促進計画」に基づき、市民が安全で安心できる災害に強い住環境の整備を図るものである。	R8	住宅、特定既存耐震不適格建築物の耐震診断及び耐震改修費用の一部補助 所沢市建築物耐震改修促進計画改定事務
	R9	住宅、特定既存耐震不適格建築物の耐震診断及び耐震改修費用の一部補助
	R10	住宅、特定既存耐震不適格建築物の耐震診断及び耐震改修費用の一部補助
事業期間	診断:平成19年度～ 改修:平成22年度～	

事業名及び概要		各年度	年度別事業概要
市営住宅愛宕山団地1号棟施設整備事業	住宅政策課	R7	愛宕山団地1号棟の屋根及び外壁改修工事及び給水等設備改修工事
【概要】 市営住宅の適切な維持管理と長寿命化を図るため、「所沢市公共施設長寿命化計画」及び「所沢市営住宅等長寿命化計画」に基づき、施設の改修を行うものである。		R8	東所沢和田団地の自動昇降機改修工事
		R9	市営住宅の屋根及び外壁改修工事
		R10	市営住宅の屋根及び外壁改修工事
事業期間	令和7年度～令和10年度		

事業名及び概要		各年度	年度別事業概要
北野下富線道路築造事業	道路建設課	R7	4工区 用地取得、下部工事(橋脚・橋台)及び擁壁工事
【概要】 国道463号バイパス小手指ヶ原交差点から一般県道所沢堀兼狭山線下富駿河台交差点までを結ぶ、延長5,500mの道路で、これまでに延長4,672mの区間が開通している。計画的な道路の整備により市街地に流入する車両を抑制して交通渋滞の緩和を図り、早期の全線開通を目指すものである。		R8	4工区 下部工事(橋脚・橋台)及び擁壁工事 上部工事(桁架設)
		R9	4工区 下部工事(橋脚・橋台)及び擁壁工事 上部工事(桁架設)
		R10	4工区 上部工事(桁架設) 舗装・安全施設工事
事業期間	平成6年度～		

事業名及び概要	各年度	年度別事業概要
所沢駅ふれあい通り線道路築造事業	R7	事業認可取得 用地取得
道路建設課		
【概要】 都市計画道路所沢駅ふれあい通り線は、主要地方道東京所沢線から所沢駅東口のくすのき台交差点までの延長780m、幅員20mの道路であり、鉄道と立体交差することにより、駅周辺の慢性的な交通渋滞の解消や東西市街地の一体化を図るものである。 このうち、市道1-525号線からくすのき台交差点までの延長262mについて、本事業により整備するものである。	R8	用地取得
	R9	用地取得
	R10	用地取得
事業期間	平成19年～	

事業名及び概要	各年度	年度別事業概要
河川・水路維持管理事業	R7	柳瀬川坂之下樋管設備保守点検業務委託
河川課		
【概要】 台風や集中豪雨などの大雨による浸水被害を軽減するため、河川・水路の改修を行う。また、河川・水路の機能維持と河川環境の保全のため、維持管理の充実を図るものである。 柳瀬川坂之下樋管は、一級河川柳瀬川の増水時に、水路への逆流を防止するための施設であり、県と市の協定により、市が点検業務を実施するものである	R8	柳瀬川坂之下樋管設備保守点検業務委託
	R9	柳瀬川坂之下樋管設備保守点検業務委託
	R10	柳瀬川坂之下樋管設備保守点検業務委託
事業期間	昭和25年～	

事業名及び概要		各年度	年度別事業概要
市民医療センター再整備事業		R7	<ul style="list-style-type: none"> ・実施設計 ・近隣住民説明会 ・建築審査会
市民医療センター 総務課			
【概要】 市民医療センターは、昭和51年9月に開設しており、経年により施設や設備の老朽化が進んでいることから、再整備の検討を行ってきた。令和5年度策定の再整備基本計画に基づき、現在の市民医療センターを運営しながら、現在地での建替えを行うものである。		R8	<ul style="list-style-type: none"> ・建設工事施工者選定 ・建設工事
		R9	<ul style="list-style-type: none"> ・建設工事
		R10	<ul style="list-style-type: none"> ・建設工事 ・新病院開院準備、開院 ・新病院開院後、旧病院解体、外構工事
事業期間	令和6年度～令和12年度		

事業名及び概要		各年度	年度別事業概要
下水道管渠布設事業		R7	2次計画事業 北秋津・上安松・若松町下水道整備事業 第2一般廃棄物最終処分場周辺下水道整備事業
下水道整備課			
【概要】 本事業は、生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るため、「第2次市街化調整区域下水道整備計画」に基づく事業として、「第1次市街化調整区域下水道整備計画」に引き続き、整備区域の拡大を図るものである。 また、北秋津・上安松・若松町下水道整備事業のほか、環境クリーン部の依頼に基づき、第2一般廃棄物最終処分場周辺地区において下水道の整備を進めていくものである。		R8	2次計画前期事業 北秋津・上安松・若松町下水道整備事業 三ヶ島工業団地周辺に係る下水道整備事業 第2一般廃棄物最終処分場周辺下水道整備事業
		R9	2次計画前期事業 北秋津・上安松・若松町下水道整備事業 三ヶ島工業団地周辺に係る下水道整備事業 第2一般廃棄物最終処分場周辺下水道整備事業
		R10	2次計画前期事業 第2一般廃棄物最終処分場周辺下水道整備事業
事業期間	平成15年度～令和17年度		

事業名及び概要		各年度	年度別事業概要
雨水貯留施設(雨水調整池)築造事業 下水道整備課		R7	本体工事(土木)(国補) 導水渠工事、機械・電気工事、公園復旧工事他(一部国補)
【概要】 本事業は、令和3年度に実施した上新井地区浸水対策検討業務委託に基づき、上新井四丁目地区について、効率的に浸水被害の軽減を図るため、既存管渠を利用し、一時的に雨水を貯留する施設(雨水調整池)を公園地下に築造するものである。		R8	
		R9	
		R10	
事業期間	令和5年度～令和7年度		

事業名及び概要		各年度	年度別事業概要
雨水管理総合計画策定事業 下水道整備課		R7	内水浸水想定区域図作成(国補)
【概要】 本事業は、市街化区域における下水道(雨水)による浸水対策を実施すべき区域や目標とする整備水準、施設整備の方針等の基本的な事項を定め、その浸水対策を計画的に進めるため、雨水管理総合計画を策定し、浸水被害の軽減を図るものである。 浸水対策については、これまでも浸水被害が発生している地域を優先に実施しているが、近年では、従来の対策の考え方に加えて、浸水リスクを評価し、優先度の高い地域を中心に計画的な対策が求められている。		R8	雨水管理総合計画策定(国補)
		R9	
		R10	
事業期間	令和6年度～令和8年度		

事業名及び概要	各年度	年度別事業概要
下水道地震対策事業	R7	耐震診断業務(市内全域、国補) 詳細設計業務(泉町地内ほか、国補) 地震対策工事(北有楽町・御幸町地内ほか)
下水道維持課		
【概要】 本事業は、所沢市下水道総合地震対策計画に基づき、重要な幹線や緊急輸送道路等に埋設している下水道施設を対象に、災害に強いライフラインを構築するため、管渠及びマンホール、調整池の耐震化を進めるものである。	R8	詳細設計業務(並木地内ほか、国補) 地震対策工事(国補)
	R9	地震対策工事(国補)
	R10	
事業期間	平成21年度～令和9年度	

事業名及び概要	各年度	年度別事業概要
下水道ストックマネジメント事業	R7	下水ポンプ場等点検業務(16箇所) 下水道管路施設点検調査(36,300m) 下水道管渠更生・布設替工事(1,335.12m)
下水道維持課		
【概要】 所沢市ストックマネジメント計画及び所沢市下水道ストックマネジメント実施方針に基づき、事業費の平準化を図りつつ、計画的に予防保全を中心とした維持管理を行うことにより、下水道機能を持続的に確保するものである。	R8	下水ポンプ場等点検・調査業務(19箇所) 下水道管路施設点検調査(44,900m) 下水道管渠更生・布設替工事(2,423.29m)
	R9	下水ポンプ場等点検・調査業務(16箇所) 下水道管路施設点検調査(38,100m) 下水道管渠更生・布設替工事(3,100.07m)
	R10	下水ポンプ場等点検・調査業務(25箇所) 下水道管路施設点検調査(40,000m) 下水道管渠更生・布設替工事(2,452.22m)
事業期間	平成23年度～	

事業名及び概要	各年度	年度別事業概要
屋内運動場空調設備設置事業	R7	【設計】 中学校7校
教育施設課		
【概要】 本事業は、近年の記録的な猛暑を受け、児童・生徒の学習環境を向上し、安心して教育に取り組める環境を整備するため、小中学校の屋内運動場に空調設備の設置を進めるものである。	R8	【工事】 中学校7校 【設計】 中学校8校
	R9	未定
	R10	未定
事業期間	令和7年度～	

事業名及び概要	各年度	年度別事業概要
学校トイレ改修事業	R7	【工事】 校舎3校(小学校2校、中学校1校) 屋内運動場11校(小学校8校、中学校3校) 【設計】 校舎5校(小学校5校)
教育施設課		
【概要】 学校のトイレについては、設備の老朽化が著しく進んでおり、給排水管の改修や環境改善に向けた洋式化やバリアフリー対策のほか、臭気対策等様々な取組が求められている。 令和3年度をもって各校1系統の改修工事につき全校完了したところであるが、引き続き校舎2系統目及び屋内運動場のトイレ改修を進めるものである。	R8	【工事】 校舎5校(小学校5校) 【設計】 校舎6校(小学校6校)
	R9	【工事】 校舎6校(小学校6校) 【設計】 校舎6校(小学校6校)
	R10	【工事】 校舎6校(小学校6校) 【設計】 校舎6校(小学校6校)
事業期間	平成26年度～	

事業名及び概要	各年度	年度別事業概要
学びの環境整備事業	R7	【工事】 中学校7校
教育施設課		
【概要】 近年、学校において、児童・生徒が被害者となる事件が発生しており、より一層の防犯対策強化が求められている。 本事業は、文部科学省の学校施設整備指針に基づき防犯カメラの設置を進めることで、学校施設の防犯体制の推進及び安全性の向上を図るものである。	R8	
	R9	
	R10	
事業期間	令和6年度～令和7年度	

事業名及び概要	各年度	年度別事業概要
小中学校校舎照明LED化事業	R7	【工事】 小学校1校、中学校1校
教育施設課		
【概要】 本事業は、校舎に設置されている既存照明のLED化を実施し、二酸化炭素の排出削減及び光熱費等の維持管理費の縮減を図ることにより、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与するものである。	R8	未定
	R9	未定
	R10	未定
事業期間	令和5年度～	

事業名及び概要	各年度	年度別事業概要
学校施設長寿命化改修事業 (公共施設マネジメント推進事業の一環)	R7	【実施設計】 小学校1校
教育施設課		
【概要】 本事業は、建築後40年以上を経過し、経年により老朽化が進む小中学校について、「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づき、建築後80年以上使用することを目的として、長寿命化改修を実施するものである。 令和7年度は、安松小学校の実施設計を行うものである。 なお、本事業の工事に関しては文部科学省の学校施設環境改善交付金を活用する予定である。	R8	【工事】 小学校1校(1/2)
	R9	【工事】 小学校1校(2/2)
	R10	未定
事業期間	令和5年度～	

事業名及び概要	各年度	年度別事業概要
滝の城跡整備事業	R7	史跡等の防災対策の推進
文化財保護課		
【概要】 郷土の貴重な文化財である「滝の城跡」を後世へ護り伝えていくため、中世城跡の本質的な価値を見出し、計画性のある長期的な整備を進める。	R8	史跡等の防災対策の推進
	R9	史跡等の防災対策の推進
	R10	史跡等の防災対策の推進
事業期間	平成19年度～	

事業名及び概要	各年度	年度別事業概要
指定文化財管理費等補助事業 文化財保護課	R7	国宝・重要文化財建造物の保存修理及び耐震診断に対する補助金の交付 【重要文化財】旧台徳院霊廟勅額門、丁子門及び御成門・小野家住宅
【概要】 所沢市文化財保護条例、所沢市文化財等保存事業費補助金等交付要綱に基づき、市内に所在する国・県・市指定等の貴重な文化財を、良好な状態で保存・管理しこれを後世に継承するため、管理・修理等に関して補助金を交付するものである。	R8	国宝・重要文化財建造物の保存修理及び耐震診断に対する補助金の交付 【重要文化財】旧台徳院霊廟勅額門、丁子門及び御成門・小野家住宅
	R9	国宝・重要文化財建造物の保存修理及び耐震診断に対する補助金の交付 【重要文化財】旧台徳院霊廟勅額門、丁子門及び御成門・小野家住宅
	R10	国宝・重要文化財建造物の保存修理及び耐震診断に対する補助金の交付 【重要文化財】旧台徳院霊廟勅額門、丁子門及び御成門・小野家住宅
事業期間	昭和56年度～	

1-3 所沢市総合計画との関連性

地域計画は、所沢市総合計画と整合・調和を図りながら進めていくため、各重点事業と関連する所沢市総合計画実施計画の主要事業は下記のとおりです。

※事業ランク…Aは最優先事業、Bは優先事業、○は重要事業

部局	所属名	総合計画 体系コード	優先度	事務事業名称	R7事業費 [千円]
危機管理室	危機管理室	162	優先	デジタル同報系防災行政無線システム更新事業	98,298
市民部	地域づくり推進課	412	重要	まちづくりセンター施設整備事業 (山口公民館太陽光発電設備設置工事)	106,898
環境クリーン部	マチごとエコタウン推進課	412	重要	公共施設太陽光発電設備設置事業	9,785
環境クリーン部	資源循環推進課	433	最優先	第2一般廃棄物最終処分場整備事業	1,995,315
環境クリーン部	資源循環推進課	442	重要	浄化槽整備補助事業	6,240
街づくり計画部	市街地整備課	621	優先	ファルマン通り交差点外無電柱化整備事業	92,402
街づくり計画部	所沢駅西口区画整理事務所	621	最優先	所沢駅ふれあい通り線道路築造事業(1工区)	1,952,157
街づくり計画部	所沢駅西口区画整理事務所	621	優先	所沢駅西口区区画まちづくり事業	36,401
街づくり計画部	所沢駅西口区画整理事務所	621	優先	所沢駅西口土地区画整理事業	1,078,000
街づくり計画部	住宅政策課	671	重要	我が家の耐震診断・耐震改修補助事業	2,000
街づくり計画部	住宅政策課	754	最優先	市営住宅愛宕山団地1号棟施設整備事業	82,137
建設部	道路建設課	631	最優先	北野下富線道路築造事業	365,375
建設部	道路建設課	631	最優先	所沢駅ふれあい通り線道路築造事業	27,099
建設部	河川課	442	重要	河川・水路維持管理事業	66,444
市民医療センター	総務課	333	最優先	市民医療センター再整備事業	145,344
上下水道局	下水道整備課	662	優先	下水道管渠布設事業	761,440
上下水道局	下水道整備課	663	最優先	雨水貯留施設(雨水調整池)築造事業	514,842
上下水道局	下水道整備課	741	最優先	雨水管理総合計画策定事業	28,209
上下水道局	下水道維持課	663	最優先	下水道地震対策事業	694,886
上下水道局	下水道維持課	664	最優先	下水道ストックマネジメント事業	589,569
教育総務部	教育施設課	255	最優先	屋内運動場空調設備設置事業	43,960
教育総務部	教育施設課	255	優先	学校トイレ改修事業	45,732
教育総務部	教育施設課	255	優先	学びの環境整備事業	16,390
教育総務部	教育施設課	412	最優先	小中学校校舎照明LED化事業	102,776
教育総務部	教育施設課	754	重要	学校施設長寿命化改修事業 (公共施設マネジメント推進事業の一環)	0
教育総務部	文化財保護課	562	重要	滝の城跡整備事業	2,142
教育総務部	文化財保護課	562	重要	指定文化財管理費等補助事業	2,273

第2章 進捗管理

地域計画の取組の進捗を把握するため、行動指標を設定したうえで、その達成度や計画全体の進み具合について、PDCAサイクル（P：計画、D：実行、C：評価、A：改善）に基づき進捗管理を行います。

なお、地域計画は総合計画と整合・調和を図ることとしていることから、総合計画に掲げている評価指標及び事業目標から地域計画に関連する指標を行動指標として設定します。

また、各重点事業の評価については、行政評価である事務事業評価で評価します。

2-1 行動指標の達成状況

◆令和5年度の行動指標（18項目）の達成状況

目標達成数	目標達成率
13	約72.2%

◆行動指標の達成状況一覧

No.	指標	単位	目標値	年数			
			実績値	R 3	R 4	R 5	R 6
1	自治会等への加入世帯数	世帯	目標値	98,100	98,200	98,300	98,400
			実績値	96,352	95,209	93,818	
			達成状況	×	×	×	
2	総合防災訓練の参加者数	人	目標値	33,100	33,600	34,100	34,600
			実績値	実施無	37,730	36,355	
			達成状況	—	○	○	
3	消防団員定員充足率	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	91.4	88.7	85.6	
			達成状況	×	×	×	
4	ところざわほっとメール （防災カテゴリ）の利用 登録者数	人	目標値	17,000	17,000	17,000	17,000
			実績値	26,916	27,076	26,018	
			達成状況	○	○	○	
5	防災資器材の点検率	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	
			達成状況	○	○	○	
6	災害時応援協定の締結数	%	目標値	80	83	86	89
			実績値	88	91	94	
			達成状況	○	○	○	
7	自主防犯団体組織数 現状値：213（H29）	団体	目標値	現状値以上			
			実績値	221	221	221	
			達成状況	○	○	○	

No.	指標	単位	目標値	年数			
			実績値	R 3	R 4	R 5	R 6
8	市域における再生可能エネルギー設備の総出力	MW	目標値	39.0	40.2	41.4	42.6
			実績値	41.0	43.1	45.4	
			達成状況	○	○	○	
9	雨水流出抑制指導による施設の設置割合	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	
			達成状況	○	○	○	
10	多言語化した行政資料の種類（「やさしい日本語」含む）	数	目標値	25	30	35	40
			実績値	65	70	78	
			達成状況	○	○	○	
11	都市計画道路の整備状況	%	目標値				72
			実績値	72.3	72.3	72.3	
			達成状況	○	○	○	
12	幹線道路（バイパス）の整備状況 （令和6年度までに1,679mを目指す）	m	目標値				1,679
			実績値	433	433	433	
			達成状況	—	—	—	
13	生活道路拡幅整備延長 （令和6年度までに4,000mを目指す）	m	目標値				4,000
			実績値	2,027	2,844	3,444	
			達成状況	—	—	—	
14	橋りょう長寿命化修繕の箇所数	橋	目標値	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	
			達成状況	○	○	○	
15	地下水の揚水量	万m ³ /年	目標値	350	350	350	350
			実績値	445	449	483	
			達成状況	○	○	○	
16	配水池の耐震化率	%	目標値	95.1			
			実績値	95.1	95.1	95.1	
			達成状況	×	×	×	
17	下水道管渠の更生・布設替工事延長	m	目標値	1,588	2,308	3,018	3,728
			実績値	1,411	3,015	3,874	
			達成状況	×	○	○	
18	長期優良住宅・低炭素建築物等計画の認定件数	件	目標値	250	250	250	250
			実績値	357	418	458	
			達成状況	○	○	○	

◆未達成の行動指標の主な理由

No.	指 標	主 な 理 由
1	自治会等への加入世帯数	新型コロナウイルス感染症の影響により加入促進活動が思うようにできなかったことや総世帯数が年々大きく増加する一方で、自治会の加入は平均 1,700 世帯ずつの増加にとどまっているため、加入率は年々低下している状況である。
3	消防団員定員充足率	少子高齢化の進行やサラリーマンの増加など、就業形態の変化に伴い減少傾向にあり、結果充足率の低下につながった。
16	配水池の耐震化率	西部浄水場 1 号配水池を除く配水池は 100%耐震化完了しているが、西部浄水場 1 号配水池の耐震化については、西部浄水場更新工事において建て替え時に実施予定。

注) No.12、No.13 は令和 6 年度までの達成を目指す行動指標です。

2-2 重点事業（2023～2026）の事務事業評価

◆国土強靱化地域計画アクションプラン（2023～2026）の各重点事業（一覧）

No.	事業名及び概要	所管課
1	市営自転車駐車場照明灯LED化整備事業	防犯交通安全課
2	高齢者福祉施設整備費補助事業	介護保険課
3	浄化槽整備補助事業	資源循環推進課
4	第2一般廃棄物最終処分場整備事業	資源循環推進課
5	ファルマン通り交差点外無電柱化整備事業	市街地整備課
6	市営住宅等マネジメント計画策定事業	市街地整備課
7	市営住宅松郷団地施設整備事業	市街地整備課
8	我が家の耐震診断・耐震改修補助事業	住宅政策課
9	所沢駅ふれあい通り線道路築造事業	所沢駅西口区画整理事務所
10	所沢駅西口区地区まちづくり事業	所沢駅西口区画整理事務所
11	所沢駅西口土地区画整理事業	所沢駅西口区画整理事務所
12	北野下富線道路築造事業	道路建設課
13	松葉道北岩岡線道路築造事業	道路建設課
14	河川・水路維持管理事業	河川課
15	下水道管渠布設事業	下水道整備課
16	雨水貯留施設（雨水調整池）築造事業	下水道整備課
17	下水道地震対策事業	下水道整備課
18	下水道ストックマネジメント事業	下水道維持課
19	中学校校舎内部改修（木質化）事業	教育施設課
20	小中学校LED化整備事業	教育施設課
21	学校トイレ改修事業	教育施設課
22	小中学校校舎照明LED化事業	教育施設課
23	学校施設太陽光発電設備設置事業	教育施設課
24	小手指公民館太陽光発電設備設置事業	社会教育課
25	埋蔵文化財普及公開事業	文化財保護課
26	滝の城跡整備事業	文化財保護課
27	指定文化財管理費等補助事業	文化財保護課
28	埋蔵文化財調査センター施設管理事業	文化財保護課

※No.6, No.7, No.20, No.23についてはR5終了事業のため、事務事業評価の対象外

◆国土強靱化地域計画アクションプラン(2023~2026)の各重点事業の事務事業評価

所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
			会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
防犯交通安全課	実施計画ランク	事業の種別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	改修により、消費電力量を約10.8MWh削減でき、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与した。また、電気使用量を約67万円削減できた。	R5年度に改善した点	13 気候変動に具体的な対策を		
	最優先	自治事務	6,919千円	6,919千円	①LED照明灯に改修した施設数	既存照明灯をLED照明灯に改修した施設数	令和6年4月現在、市営自転車駐車場は31施設ある。事業初年度である令和4年度は水銀灯の設置を中心に14施設の改修を行った。令和5年度からは、令和5年11月の水銀に関する水俣条約第5回締約国会議において、令和9年で一般照明用の蛍光灯の製造・輸出入を廃止することが決定されたことから蛍光灯を順次LED照明灯に改修した施設数を指標とする。							
	市営自転車駐車場照明灯LED化整備事業	根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)	②LED化により削減できた電気使用量		R4目標	R4実績					R5目標値が未達成の理由・分析	
		所沢市自転車駐車場条例	1,540千円	1,540千円	③LED化により削減できた電気料金	R5目標	R5実績							
	事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	R6目標	R5目標値が未達成の理由・分析								
	市営自転車駐車場に設置されている経年劣化した既存照明灯をLED照明灯に改修するものである。これにより、二酸化炭素の排出量及び消費電力量の削減が見込まれ、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与するものである。	0.26人	0	13施設	14施設	R5目標値が未達成の理由・分析								
		2,081千円		R5目標	R5実績	R5目標値が未達成の理由・分析								
		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①2施設	2施設	目標達成済み								
期間	0.27人	0	②約10.8MWh	R6目標	R6目標値が未達成の理由・分析									
R4 ~	2,182千円		③約67万円	0施設	R6目標値が未達成の理由・分析									
介護保険課	実施計画ランク	事業の種別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	事前相談のあった事業所の施設整備について、半分のみが施設整備となったため。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
	-	自治事務	163,832千円	163,832千円	①事前相談のあった整備予定事業所数	事前相談のあった整備予定事業所数に対し、整備完了した事業所数の実績数(R4は事業所の新設、R5は事業所の改修)	前年度に改修等の事前相談があった事業所の整備予定数に対し、施設整備を完了したことが事業の目的に合致するため、整備予定事業所数に対する整備完了事業所数の実績を目標値として設定した。							
	高年齢福祉施設整備補助事業	根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)	②整備完了した事業所数		R4目標	R4実績					R5目標値が未達成の理由・分析	
	所沢市高齢者福祉施設等整備費補助金交付要綱	35,330千円	8,115千円	4事業所	4事業所	R5目標値が未達成の理由・分析								
	事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	R5目標	R5目標値が未達成の理由・分析								
	本事業は、市内に地域密着型サービスの施設を整備し運営する法人を財務面から支援することにより、基盤整備(新規開設)や施設整備を促進し、必要な介護サービス提供量を確保するとともに、利用者等が安心・安全に施設を利用することができる環境を整えるものである。国(厚生労働省)の地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金或いは県の地域密着型サービス等整備助成事業費等補助金を活用し、地域密着型サービスの施設の改修等を希望する事業者に対して補助を行う。本事業を通じ、地域密着型サービスの充実、ひいては地域における高齢者福祉の促進を図る効果が見込まれる。	0.24人	0人	4事業所	4事業所	R5目標値が未達成の理由・分析								
		1,920千円		R5目標	R5実績	R5目標値が未達成の理由・分析								
		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①4事業所	2事業所	前年度に改修等の事前相談があった4事業所について、国へ補助金交付の事前協議を行ったところ、2事業所のみ内諾しか得られなかったため、4事業所の施設整備を完了させる目標を達成できなかった。								
期間	0.54人	0人	②2事業所	R6目標	R6目標値が未達成の理由・分析									
H17 ~	4,364千円		4事業所	4事業所	R6目標値が未達成の理由・分析									
資源循環推進課	実施計画ランク	事業の種別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	申請の相談を受けるが、放流先が無断断念するケースもある。また、補助を受けても費用負担が少なくなく、現状の単独槽でも問題なく生活出来ており、必要性を感じていないケースも多い。	R5年度に改善した点	6 安全な水とトイレを世界中に		
	重要	自治事務	6,240千円	666千円	①補助金交付	補助金交付件数	当市の近年の申請数に照らし合わせると妥当と考えられる。							
	浄化槽整備補助事業	根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)	②広報		R4目標	R4実績					R5目標値が未達成の理由・分析	
		循環型社会形成推進交付金交付要綱 所沢市浄化槽整備事業補助金交付要綱	6,240千円	0千円	実績	10件	1件	R5目標値が未達成の理由・分析						
	事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	R5目標	R5目標値が未達成の理由・分析								
	浄化槽整備の費用について補助金を交付することにより、生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与するためである。	0.80人	0人	10件	1件	R5目標値が未達成の理由・分析								
		6,402千円		R5目標	R5実績	R5目標値が未達成の理由・分析								
		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①0件	0件	R5目標値が未達成の理由・分析								
期間	0.70人	0人	②補助要件を満たすであろう世帯88件のポスティング及びHPにて周知	R6目標	R6目標値が未達成の理由・分析									
H5 ~	5,657千円		10件	10件	R6目標値が未達成の理由・分析									

所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
			会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
資源循環推進課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	最終処分場建設工事については、目標としていた出来高に到達することが出来た。	R5年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 11 住み続けられるまちづくりを		
	最優先	自治事務	601,232千円	465,965千円	①最終処分場建設工事の進捗率	最終処分場建設工事の進捗率	自区内処理の原則に基づき、新たな最終処分場を整備する必要があるため、各段階における成果指標を設定した。令和5年度に最終処分場建設工事を開始したことから、事業進捗に伴う、工事の進捗率を成果指標とした。							
	第2一般廃棄物最終処分場整備事業	根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)			R4目標	R4実績			R5目標値が未達成の理由・分析			
		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、所沢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	1,025,689千円	947,118千円	R5目標						R5実績			
		事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	R5目標								R5実績	
	市内で発生する一般廃棄物の最終処分については、市外の最終処分場と市内の北野一般廃棄物最終処分場で行ってきたが、北野一般廃棄物最終処分場は平成17年3月末日をもって埋立が終了した。現在は全量を県営の処分場や県外の民間処分場へ搬出していることから、自区内処理の原則に基づき、市内に新たな一般廃棄物最終処分場を整備する事業である。	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績		0%	0%	目標達成済						
	期間	H11 ~ R7	7.75人	1人	①13%	R6目標	R6実績							
			62,016千円	0.8人		76%								
		5.25人	0.8人											
		42,425千円												
市街地整備課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	令和5年度(令和4年度からの繰越し分を含め)国費の交付決定を受けた事業費の工事はすべて完了した。無電柱化整備事業に大幅な遅れは無く、引き続き交差点周辺の安全性向上に取り組んでいく。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを		
	最優先	自治事務	66,106千円	61,881千円	①電線共同溝整備工事(第2期)	電線共同溝本管の施工延長	ファルマン通り交差点周辺を無電柱化するために、電線共同溝の整備が必要ことから、電線共同溝本管の施工延長を指標とする。							
	ファルマン通り交差点外無電柱化整備事業	根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)			R4目標	R4実績			R5目標値が未達成の理由・分析			
		電線共同溝の整備等に関する特別措置法、道路法、所沢市電線共同溝管理規程	69,126千円	56,785千円	R5目標						R5実績			
		事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	R5目標								R5実績	
	ファルマン通り交差点周辺において、所沢東町地区第一種市街地再開発事業(組合施行)に伴う都市計画道路の拡幅に合わせ、ファルマン通り交差点改良事業を行った。本事業は、これらの事業と一体的に無電柱化の整備を行うことにより、県が進める銀座地区の無電柱化と合わせて、旧町地区における災害時の通行の確保、歩行者の安全で快適な空間の確保や賑わいの創出など、人を中心としたまちづくりに資するものである。	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績		152m	137m	電線共同溝整備工事については、国庫補助金を活用しており、国費の内定率により施工延長に影響が出る場所であるが、電線共同溝の本管布設工事期間を5年間としていることから、引き続き国費要望に努め事業を進めることで、予定期間内の完成は達成できるものである。						
	期間	R4 ~	1.47人	0人	①電線共同溝整備工事(第2基)の実施	R6目標	R6実績							
			11,763千円	0人		164m	89m							
		1.47人	0人		R6目標	128m								
		11,879千円												
住宅政策課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	一戸建て住宅の耐震診断の補助件数が、当初の目標を下回っており、また、緊急輸送道路閉塞建築物や、マンション等の大規模建築物の耐震化についても進んでおらず、近年この傾向が続いているため、耐震化を促進する取り組みが課題となっている。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを		
	重要	自治事務	2,000千円	1,550千円	①我が家の耐震診断相談会での相談件数 ②補助実績棟数 ③ホームページアクセス件数	耐震診断・耐震改修補助実績件数	市内の民間建築物の耐震診断及び耐震改修費用の一部を補助し、住宅等の耐震化を図ることが本事業の目的となっているため、耐震診断・耐震改修費用の補助実績を指標とする。目標値は、当初予算にて見込んでいる補助件数とする。							
	我が家の耐震診断・耐震改修補助事業	根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)			R4目標	R4実績			R5目標値が未達成の理由・分析			
		法律、我が家の耐震診断補助金交付要綱、我が家の耐震改修補助金交付要綱	5,000千円	2,294千円	R5目標						R5実績			
		事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	R5目標								R5実績	
	「所沢市建築物耐震改修促進計画」に基づき、市民が安全で安心した生活のできる災害に強い住環境を整備することを目的とし、市内の住宅等の耐震化を図るため、民間建築物の耐震診断及び耐震改修費用の一部を補助する。	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績		11件	7件	本事業の対象となる昭和56年以前の建築物については、築後40年以上が経過しており、特に木造住宅の場合は改修工事より建替えを選択する時期に来ていることや、非木造建築物については改修に要する費用負担が大きいこと等が要因になっているものと考えられる。						
	期間	H19 ~	0.72人	0人	①40件(新耐震建築物含む) ②3件・耐震診断2件(戸建て) ・耐震改修1件(共同住宅) ③14,579件	R6目標	R6実績							
			5,761千円	0人		12件	3件							
		0.59人	0人		R6目標									
		4,768千円			11件									

所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
			会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目			
所沢駅西口区画整理事務所	実施計画ランク	事業の種別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	事業用地の取得が予定より遅れていることから、地権者と借地人の交渉過程の確認を行った。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを				
	最優先	自治事務	431,579千円	382,829千円	①委託件数 ②工事件数(協定工事含) ③住民説明会開催数	東村山第7号踏切(大踏切)の交通遮断によるピーク時の所沢駅東西移動支障時間(分)	所沢駅ふれあい通り線の整備により、東村山第7号踏切の遮断による所沢駅東西地区間の移動の障害を無くすことを目標とするため、ピーク時の踏切遮断による移動支障時間を成果指標とした。	R5目標値が未達成の理由・分析								
	根拠法令	都市計画法、道路法	R5予算現額	R5決算額(見込み)												
	事業の目的及び具体的な内容	都市計画道路所沢駅ふれあい通り線は、鉄道と立体交差することにより、駅周辺の慢性的な交通渋滞の解消や東西市街地の一体化を図るものである。このうち、県道久米所沢線から東村山第7号踏切(大踏切)の通りである市道1-525号線までの延長約200mについて、本事業より建設を進めるものである。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合									R4目標	R4実績		
	期間	R2 ~ R10	4.05人	0人	実績	開通後0分	51分	R5目標					R5実績	未開通のため。未整備区間の整備を推進するために、今後も継続的に用地取得と道路建設を進めていくことで、早期の供用開始、全線開通を目指すものである。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
	32,408千円	0人	①3件	②2件	③1回	開通後0分	51分	R6目標					開通後0分	事業用地の2地権者と協議を進め、取得可能なタイミングを注視しながら用地買収の準備を行う。	鉄道により分断されている所沢駅東西地区を一体化させ、駅周辺の慢性的な交通渋滞の解消を図る。	
	4.00人	0人	100.0%	100.0%	100.0%	101,123人	101,123人	104,000人					104,000人	評価者	所沢駅西口区画整理事務所長 吉田 稔	
	32,324千円	0人	100.0%	100.0%	100.0%	101,123人	101,123人	104,000人					104,000人	所沢駅西口区画整理事務所長 吉田 稔		
	553,323千円	166,467千円	100.0%	100.0%	100.0%	101,123人	101,123人	104,000人					104,000人			
	2.35人	0人	100.0%	100.0%	100.0%	101,123人	101,123人	104,000人					104,000人			
18,805千円	0人	100.0%	100.0%	100.0%	101,123人	101,123人	104,000人	104,000人								
所沢駅西口地区まちづくり事業	実施計画ランク	事業の種別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	所沢駅周辺の回遊性の向上を目指し、令和6年9月の広域集客型商業施設の開業に向け、歩行者デッキの工事に着工した。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを				
	最優先	自治事務	91,680千円	39,918千円	①委託件数 ②工事件数 ③所沢駅西口まちづくり連絡協議会開催数	【R4まで】市街地再開発事業の総事業費に対する事業実績 【R5から】所沢駅の1日当たり平均乗降客数	【R5から】令和4年度までは市街地再開発事業の事業費ベースの進捗率を指標としていたが、市街地再開発事業が完了したため、令和5年度からは本来の目的である所沢駅周辺の回遊性の向上を図る指標として、所沢駅の1日当たりの平均乗降客数を成果指標とした。なお、コロナ前の過去10年の乗降客数の年間伸び率は約1%であるが、近年の所沢駅周辺の開発の動向を踏まえ、令和5年度の1日当たりの平均乗降客数101,123人から約3%増加の104,000人を目標とする。	R5目標値が未達成の理由・分析								
	根拠法令	都市計画法、都市再開発法、所沢市街づくり条例	R5予算現額	R5決算額(見込み)												
	事業の目的及び具体的な内容	所沢駅西口地区については、本市の表玄関にふさわしい魅力と活力ある街の創出を目指し、計画的な土地利用の誘導によるまちづくりを進めている。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合									R4目標	R4実績		
	期間	H13 ~	2.35人	0人	実績	100.0%	100.0%	R5目標					R5実績	目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
	18,805千円	0人	100.0%	100.0%	100.0%	101,123人	101,123人	104,000人					104,000人	評価者	所沢駅西口区画整理事務所長 吉田 稔	
	3.75人	0人	100.0%	100.0%	100.0%	101,123人	101,123人	104,000人					104,000人	所沢駅西口区画整理事務所長 吉田 稔		
	30,304千円	0人	100.0%	100.0%	100.0%	101,123人	101,123人	104,000人					104,000人			
	553,323千円	166,467千円	100.0%	100.0%	100.0%	101,123人	101,123人	104,000人					104,000人			
	2.35人	0人	100.0%	100.0%	100.0%	101,123人	101,123人	104,000人					104,000人			
18,805千円	0人	100.0%	100.0%	100.0%	101,123人	101,123人	104,000人	104,000人								
所沢駅西口土地区画整理事務所	実施計画ランク	事業の種別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	見込んでいた保留地の処分ができなかったものの、工事等については事業完了に向け順調に進んでいる。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを				
	優先	自治事務	1,614,904千円	962,955千円	①工事件数 ②住民説明会開催数 ③街づくりだより発行数	土地区画整理事業により市街地が整備された面積	土地区画整理事業の目的として、都市基盤整備、宅地整備によるにぎわいの創出、良好な住宅市街地の整備を行うことから、土地区画整理事業全体の整備状況を成果指標とした。	R5目標値が未達成の理由・分析								
	根拠法令	都市計画法、土地区画整理法、所沢都市計画事業所沢駅西口土地区画整理事業施行に関する条例	R5予算現額	R5決算額(見込み)												
	事業の目的及び具体的な内容	所沢駅西口土地区画整理事業については、本市の表玄関にふさわしい魅力と活力ある街を創出するため、所沢駅西口北街区第一種市街地再開発事業との一体的施行を行う等、賑わいと良好な住環境が両立する都市基盤の整備を進めている。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合									R4目標	R4実績		
	期間	H28 ~ R7	7.70人	0人	実績	0.18h	0.18h	R5目標					R5実績	予定していた区画の移転交渉が進まなかったため、使用収益の開始に至らなかった。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
	61,615千円	0人	100.0%	100.0%	100.0%	0.18h	0h	0.18h					0h	評価者	所沢駅西口区画整理事務所長 吉田 稔	
	6.45人	0人	100.0%	100.0%	100.0%	0.18h	0h	0.18h					0h	所沢駅ふれあい通り線の事業の遅れに伴い、土地区画整理事業の完了時期に影響を及ぼす可能性があることから、関係機関と事業完了に向け協議を進める。	事業地区内における公共用地の割合を、事業施行前の9.25%から35.86%まで整備する。	
	52,122千円	0人	100.0%	100.0%	100.0%	0.18h	0h	0.18h					0h	所沢駅西口区画整理事務所長 吉田 稔		
	1,614,904千円	962,955千円	100.0%	100.0%	100.0%	0.18h	0h	0.18h					0h			
	2,641,244千円	1,468,079千円	100.0%	100.0%	100.0%	0.18h	0h	0.18h					0h			
7.70人	0人	100.0%	100.0%	100.0%	0.18h	0h	0.18h	0h								
61,615千円	0人	100.0%	100.0%	100.0%	0.18h	0h	0.18h	0h								

所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど				SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目			
道路建設課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	本路線は所沢市の外環状道路であるため、全線開通により交通渋滞の緩和に大きく寄与する事業であることから重点的に整備を進めている。令和5年度は1工区の用地取得及び道路築造工事、4工区の用地取得及び道路設計等積極的に道路整備を行い、着実に事業を進めた。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを				
	最優先	自治事務	297,358千円	165,498千円	①用地取得率 ②工事進捗率	交通渋滞緩和及び主要地方道川越所沢線(美原町3-2944-2前)に観測点を設定。当該都市計画道路開通により交通量1割削減を達成する。	北野下富線(1工区)と松葉道北岩岡線の同時開通により交通渋滞の緩和を図るもので左記箇所に観測点を設定して、年1回・7月の第1水曜日(朝)午前7時30分～8時30分、(夕)午後5時30分～6時30分に測定する。	R5年度に改善した点								
	北野下富線道路築造事業	根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)							①1工区98% 2工区100% 3工区99.5% 4工区98%		R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	
		道路法、都市計画法	652,154千円	317,845千円	②1工区61% 2工区100% 3工区100% 4工区0%	実績	開通後1割削減	2,607台			未開通のため。未整備区間の整備を推進するために、今後も継続的に用地取得と道路建設を進めていくことで、早期の供用開始、全線開通を目指すものである。測定日R5.7.5、川越所沢線朝)川越方面374台、所沢方面247台、夕)川越方面318台、所沢方面319台、市道3-5号線朝)狭山方面273台、所沢方面377台、夕)狭山方面237台、所沢方面387台					
		事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0人	R5目標	R5実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み								
	期間	平成4年度の都市交通施設整備計画において所沢市の外環状道路として位置付け、幹線道路の環状型ネットワークを形成し、市内道路の交通渋滞緩和を図るものである。国道463号バイパス小手指ヶ原交差点から一般県道所沢堀兼狭山線下富駿河台交差点までの延長5,500mの道路の整備を行うもので、早期の全線開通を目指す。	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	0人	開通後1割削減	2,532台	早期の全線開通を目指し、引き続き用地取得と道路建設を進める。また、社会経済状況や財政事情等に応じて、事業期間や総事業費の見直しを行うと共に、地元の意見を伺いながら、整備効果を高めるものである。								
	H6	～	4.60人	0人	開通後1割削減	評価者	道路建設課長 岩崎 幸司	どのように貢献したか								
			37,173千円	0人		道路建設課長 岩崎 幸司		市内道路の交通渋滞の緩和を図り、安心安全で良好な交通環境のために、都市計画道路の整備を推進した。								
	道路建設課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠			A		本路線は新所沢跨道橋通りから市道3-1124号線までの延長890mの区間が開通している。令和5年度は市道3-1124号線から北野下富線までの延長526m区間の歩道整備及び表層工等を行った。今後は警察協議を進め、北野下富線(1工区)との同時開通を目指す。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを	
		優先	自治事務	39,600千円	38,119千円	①用地取得率 ②工事進捗率	交通渋滞緩和及び主要地方道川越所沢線(美原町3-2944-2前)に観測点を設定。当該都市計画道路開通により交通量1割削減を達成する。	北野下富線(1工区)と松葉道北岩岡線の同時開通により交通渋滞の緩和を図るもので左記箇所に観測点を設定して、年1回・7月の第1水曜日(朝)午前7時30分～8時30分、(夕)午後5時30分～6時30分に測定する。						R5年度に改善した点		
松葉道北岩岡線道路築造事業		根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)	①100%				R4目標	R4実績		R5目標値が未達成の理由・分析				
		道路法、都市計画法	74,800千円	51,881千円	②100%	実績	開通後1割削減	2,607台	未開通のため。未整備区間の整備を推進するために、今後も継続的に用地取得と道路建設を進めていくことで、早期の供用開始、全線開通を目指すものである。測定日R5.7.5、川越所沢線朝)川越方面374台、所沢方面247台、夕)川越方面318台、所沢方面319台、市道3-5号線朝)狭山方面273台、所沢方面377台、夕)狭山方面237台、所沢方面387台							
		事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0人	R5目標	R5実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み								
期間		新所沢の市街地から狭山市内の主要地方道所沢狭山線を結ぶ延長2,860mの道路で、隣接する自治体の都市計画道路と接続することによる交通の利便性の向上とともに、交通渋滞緩和と周辺住民の安心・安全確保を図るものである。	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	0人	開通後1割削減	2,532台	北野下富線(1工区)との同時開通に向け、警察協議を実施する。								
H16		～	0.80人	0人	開通後1割削減	評価者	道路建設課長 岩崎 幸司	どのように貢献したか								
			6,465千円	0人		道路建設課長 岩崎 幸司		市内道路の交通渋滞の緩和を図り、安心安全で良好な交通環境のために、都市計画道路の整備を推進した。								
河川課		実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A		成果指標の目標を達成した。		R5年度に改善した点		11 住み続けられるまちづくりを
		重要	自治事務	54,352千円	50,060千円	①維持管理(清掃) ②要望・通報件数 ③改修・整備工事	要望・通報処理件数	維持管理の成果を測るには、要望の大部分を占める除草や清掃への対応件数を指標とすることが適しているため。	R5年度に改善した点							
	河川・水路維持管理事業	根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)	①2,233m						R4目標		R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析		
		事業の目的及び具体的な内容	54,157千円	48,327千円	②332件	実績	250件	302件	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み							
		1、河川の氾濫による浸水被害等の防止を図るため、改修・整備を行う。 2、パトロールや市民等の要望により、清掃・除草および修繕等を行う。 3、地域に根付く川づくりを目指し、維持管理の一部を委託する。 4、「水辺のサポーター制度」事業の推進。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0人	R5目標	R5実績	目標達成済								
	期間		5.00人	0人	③454.95m	R6目標	250件	332件	要望や通報に関しては、雨が多く、植物の成長が早い夏季に多く寄せられることから、要望が集中した際に効率的に作業を進めていくことが求められる。							
	S25	～	40,010千円	0人	250件	評価者	河川課長 遠山 秀仁	どのように貢献したか								
			5.25人	0人		河川課長 遠山 秀仁		住民からの要望に速やかに対応することで、浸水被害等の防止を図ることができた。								
			42,425千円	0人												

所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
			会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
下水道整備課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠			A	目標を達成しており、成果をあげていると考えている。今後も第4期市街化調整区域下水道整備事業を計画通り進める。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を
	最優先	自治事務	3,040,659千円	1,773,397千円	①汚水管の整備面積	整備面積		汚水管の整備面積が拡大することで目標達成の成果が把握できるので、整備面積を指標とする。					R5年度に改善した点	6 安全な水とトイレを世界中に
	下水道管渠布設事業	根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)		R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析		R5年度に改善した点			9 産業と技術革新の基盤を作ろう	
		下水道法、都市計画法、社会資本整備総合交付金交付要綱、第1次市街化調整区域下水道整備計画	3,266,201千円	2,542,572千円	R5目標値が未達成の理由・分析			R5年度に改善した点	9 産業と技術革新の基盤を作ろう					
	事業の目的及び具体的な内容	生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るため、主に下水道未整備区域の汚水管整備を進める。平成15年度から「第1次市街化調整区域下水道整備計画」に基づき整備に着手し、第1期から第3期までの各5年間の整備事業は完了した。令和2年度からは第4期市街化調整区域の面整備事業を行っている。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	10.9ha	9.8ha	R5目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	9 産業と技術革新の基盤を作ろう				
			12.56人	0人	①11.8ha	R5目標	R5実績		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	9 産業と技術革新の基盤を作ろう				
	期間	H15 ~	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		10.9ha	9.6ha	11.8ha	目標達成済	第4期市街化調整区域下水道整備事業の完了に向け、施工が難しい路線などは本工事に着手する前に試験掘りを実施するなど、事前準備を周到に行う。			どのように貢献したか	
			12.74人	1人	①11.8ha	R6目標			評価者	下水道整備によって公共用水域の水質保全に貢献している。				
		102,952千円			7.0ha			下水道整備課長 村上 和雄						
下水道整備課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠			B	令和5年度目標に達していないが、繰越した施設詳細設計の業務委託は令和6年4月末までに完成しており、着実に事業は進捗している。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を
	最優先	自治事務	0千円	0千円	①事業の進捗率	事業完了に向けた各年度の進捗率		事業の進捗状況を確認することで目標達成の成果が把握できるので、進捗率を指標とする。					R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを
	雨水貯留施設(雨水調整池)築造事業	根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)		R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析		R5年度に改善した点			13 気候変動に具体的な対策を	
		下水道法	40,000千円	0千円	R5目標値が未達成の理由・分析			R5年度に改善した点	13 気候変動に具体的な対策を					
	事業の目的及び具体的な内容	令和3年度に実施した上新井地区浸水対策検討業務委託に基づき、上新井四丁目地区について、効率的に浸水被害の軽減を図るため、既存管渠を利用し、一時的に雨水を貯留する施設(雨水調整池)を公園地下に築造する。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績			R5目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか				
			0.00人	0人	①10%	R5目標	R5実績		施設詳細設計業務委託においては、雨水調整池の配置変更に伴う構造等の検討に時間を要し、やむを得ず次年度に繰越したことから予定の進捗に及ばなかったものである。	人件費及び資材価格の高騰により工事費への影響が懸念されるが、計画通りの施設完成に向けて、適正な進捗管理を行っていく。			雨水貯留施設(雨水調整池)を築造することにより、雨水流出を抑制し、浸水被害の軽減に貢献している。	
	期間	R5 ~	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		①10%	20.0%	10.0%		評価者				
			0.64人	0人		70.0%			下水道整備課長 村上 和雄					
		5,172千円												
下水道整備課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠			A	目標を達成しており、成果をあげていると考えている。今後も所沢市下水道総合地震対策計画に基づく長期計画を計画通り進める。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を
	最優先	自治事務	228,378千円	163,568千円	①マンホールの地震対策	各年度のマンホール・管渠の耐震化完了数		所沢市下水道総合地震対策計画に基づく長期計画(令和5年度~令和9年度)において、各年度で設定した耐震化の完了数を目標指数とする。					R5年度に改善した点	6 安全な水とトイレを世界中に
	下水道地震対策事業	根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)		R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析		R5年度に改善した点			9 産業と技術革新の基盤を作ろう	
		下水道法、都市計画法、下水道総合地震対策計画	305,862千円	290,376千円	R5目標値が未達成の理由・分析			R5年度に改善した点	9 産業と技術革新の基盤を作ろう					
	事業の目的及び具体的な内容	平成21年度に策定した所沢市下水道総合地震対策計画に基づき、重要な幹線や緊急輸送道路等に埋設されている下水道施設を対象に、災害に強いライフラインを構築するため、管渠やマンホール等の耐震化を進める。令和5年度からは、長期計画に基づき事業を進めていく。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	①4箇所 ②166m	①4箇所 ②166m	R5目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか				
			1.45人	0人	①0箇所 ②222m	R5目標	R5実績		耐震化の対象路線の中には、幹線管渠であり、断面が大きく流量も多いうえマンホールも深く、施工困難な条件のため工法等の検討に苦慮している箇所もある。他自治体の施工実績や現場状況を確認しながら、引き続き可能な施工方法を検討していく。	重要なライフラインである下水道の耐震性能が向上することで、下水道の機能保全に貢献している。				
	期間	H21 ~ R9	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		①0箇所	②222m	①0箇所 ②222m	目標達成済	評価者				
			1.31人	0人	②222m	R6目標			下水道整備課長 村上 和雄					
		10,586千円			①0箇所 ②1,828m									

所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど				SDGsへの貢献(最大3つ)			
			会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目					
下水道維持課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	R5年度は更生工事の一部が繰り越しとなり、実績には計上することができなかったものの、所沢地区の改築と毎年度約30kmのビデオカメラ調査の双方が順調に進展している。	R5年度は更生工事の一部が繰り越しとなり、実績には計上することができなかったものの、所沢地区の改築と毎年度約30kmのビデオカメラ調査の双方が順調に進展している。	R5年度は更生工事の一部が繰り越しとなり、実績には計上することができなかったものの、所沢地区の改築と毎年度約30kmのビデオカメラ調査の双方が順調に進展している。	R5年度は更生工事の一部が繰り越しとなり、実績には計上することができなかったものの、所沢地区の改築と毎年度約30kmのビデオカメラ調査の双方が順調に進展している。	3 すべての人に健康と福祉を				
	優先	自治事務	403,336千円	346,591千円	①改築延長 ②テレビカメラ調査延長	改築延長	緊急度ⅠないしⅡにおける改築工事の計画及び実施延長を指標とする。	R5年度に改善した点							9 産業と技術革新の基盤を作ろう			
	根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)	328,892千円												195,196千円	R4目標	R4実績
	下水道ストックマネジメント事業	事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	①858.7m ②26,943.0m	710.0m	858.7m	目標達成済							事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか		
			4.25人	0人													R5目標	R5実績
			34,009千円	0人													R6目標	R6実績
	期間	平成29年度に策定した「所沢市ストックマネジメント実施方針」に基づき、予防保全を中心とした計画的な維持管理等を行い、事業費の平準化を図るとともに下水道機能を持続的に確保するものである。	4.56人	0人	710.0m										評価者	予保全型の維持管理を行うことにより、下水道管の老朽化に起因する道路陥没等の事故を未然に防ぐことが可能となり、安心安全な街づくりに寄与することができる。		
	H23 ~		36,849千円	0人											下水道維持担当 加藤 孝雄			
教育施設課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	児童生徒の安全性の確保のため、滞りなく改修工事を実施し、学校環境の改善を図ることができている。今後も学校施設の老朽化が進むことから、計画的に事業を進める。	令和5年度の作業工程を見直し、次年度の早期発注に向けた調整を行った。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか					
	最優先	自治事務	4,166千円	3,431千円	①設計実施件数 ②改修工事実施件数	改修工事実施件数	大規模な修繕は、所沢市公共施設長寿命化計画に基づく短期予防保全計画に基づくため、その他学校環境の安全性の確保のため実施する改修工事件数を指標とし、緊急性や財政状況等を考慮した目標設定とする。	R5年度に改善した点						4 質の高い教育をみんなに				
	根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)	255,310千円											109,670千円	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
	中学校校舎内部改修(木質化)事業	事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	①0件 ②1件	1件	1件	目標達成済						事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか			
			0.59人	0人												R5目標	R5実績	
			4,721千円	0人												R6目標	R6実績	
	期間	これまであまり手を加えることができなかった校舎内部の改修を行うこととしており、改修にあたっては、国や県及び本市の法律や方針において、木材利用の促進や木造化を推進することとされていることから、木材を活用した校舎内部改修を行うものである。	0.80人	0人	1件									評価者	年々学校施設の老朽化が進んでいるが、財政状況や、緊急性を総合的に勘案しながら、児童生徒の安全を第一とした修繕・改修に努める。			
	R4 ~		6,465千円	0人	1件									教育施設課長 市村 浩昭	学校環境の向上、CO2排出量の削減及び光熱費等の維持管理費の縮減に貢献した。			
教育施設課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	昨年に引き続き、計画どおりに洋式化、バリアフリー化、臭気対策等について、教育環境の整備を進めることができた。	改修計画に伴い基準仕様書の見直しを行い、学校や設計施工監理を行う営繕課と連絡調整を行った。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか					
	優先	自治事務	1,250,550千円	526,207千円	①設計実施件数 ②改修工事実施件数	市立小中学校における大便器の洋式化率	大便器の洋式化を図っているため、洋式化大便器数/全大便器数により洋式化率を算定する。	R5年度に改善した点						4 質の高い教育をみんなに				
	根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)	1,917,350千円											724,658千円	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
	学校トイレ改修事業	事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	①15校 ②15校	53.0%	54.6%	目標達成済						事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか			
			0.90人	0人												R5目標	R5実績	
			7,202千円	0人												R6目標	R6実績	
	期間	家庭や公共施設のトイレの洋式化が進む中、学校トイレについては、その多くが和式で、また老朽化が進んでいることから、学校環境の向上のため、学校施設のトイレについて、洋式化、バリアフリー対策、臭気対策、給排水管の改修等を行うものである。	1.00人	0人	56.0%	57.7%								評価者	昨年度より屋内運動場のトイレ改修や校舎2系統目の施工を行っているため、今まで以上に学校や営繕課との間の連絡調整を蜜に行うように努める。			
	H26 ~		8,081千円	0人	59.0%									教育施設課長 市村 浩昭	設備の老朽化による給排水管の改修、洋式化、バリアフリー化等の実施により学校環境の向上に貢献した。			

所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
			会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
教育施設課	実施計画ランク	事業の種別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠			S	事業の目標達成に向けて、遅延なく成果が得られている。学校環境の改善を図るため、今後も計画的に事業を進める。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに
	最優先	自治事務	-	-	①設計実施件数 ②工事実施件数	設計の進捗		工事に必要な設計図書の作成の進捗を指標とする。					学校の要望を踏まえ、照明器具の仕様の見直しを行った。	
	小中学校校舎照明LED化事業	根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)		R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析					事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
		-	388,903千円	9,350千円	R5目標値が未達成の理由・分析									
		事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績		R5目標値が未達成の理由・分析							
	期間	本事業は、校舎に設置されている既存照明のLED化を実施し、二酸化炭素の排出削減及び光熱費等の維持管理費の削減を図ることにより、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与するものである。	-	会年職員等	0人	R5目標	R5実績	R5目標値が未達成の理由・分析					どのように貢献したか	
	R5	~	-	会年職員等	0人	設計15件	設計15件	目標達成済					学校や他工事との調整を図りながら、事業を進めていく。	
		0.87人	会年職員等	0人	R6目標		R6目標値が未達成の理由・分析			評価者	教育施設課長 市村 浩昭			
		7,030千円	会年職員等	0人	工事8件		R6目標値が未達成の理由・分析							
社会教育課	実施計画ランク	事業の種別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠			A	契約が、市の財政面において、適正かつ有利に行われたことは、高評価の要因である。今後も関係各課と調整しながら、適正な価格での予算取り及び執行を進める。	R5年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
	最優先	自治事務	6,615千円	5,500千円	①施設改修工事費 予算額 ②施設改修工事費 契約額	施設改修工事費予算の執行額		執行率の低さを目標とすることは、予算の抑制に繋がる。低すぎる場合は予算額の設定が高いことになり、今後の予算の組み立てを考える上での問題提起の要素の一つとなる。					令和6年度に行う小手指公民館太陽光発電設置工事に向け、契約事務を適切に行った。	
	小手指公民館太陽光発電設備設置事業	根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)		R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析					事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
		地球温暖化対策推進法、所沢市マチごとエコタウン推進計画	121,440千円	0千円	R5目標値が未達成の理由・分析									
		事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績		R5目標値が未達成の理由・分析							
	期間	令和2年11月のゼロカーボンシティ宣言に基づき、一層の再生可能エネルギーの導入及び低炭素化を推進している。その一環として、災害時に現地対策支部となるまちづくりセンター(公民館)において、今回、短期予防保全計画による屋上防水シート改修に合わせ、太陽光発電設備の設置を行うことにより、平常時の再生可能エネルギー活用及び災害時における非常用電源の確保を図る。	0.08人	会年職員等	0人	R5目標	R5実績	R5目標値が未達成の理由・分析					どのように貢献したか	
	R4	~	640千円	会年職員等	0人	95.0%	91.7%	目標達成済					評価者	
	令和4年度に設計を行い、令和5年・令和6年度の2年をかけて設置するものである。	0.13人	会年職員等	0人	R6目標		R6目標値が未達成の理由・分析			経年劣化の進む施設について、所沢市公共施設長寿命化を踏まえて今後の維持管理に努め、適正な額で予算を確保し執行する。	再生可能エネルギーの導入により低炭素化に貢献することになる。また、蓄電池を併設し、災害時における非常用電源を確保することが可能となった。			
		1,051千円	会年職員等	0人	95.0%		R6目標値が未達成の理由・分析							
文化財保護課	実施計画ランク	事業の種別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠			B	実績値は目標を下回っているが、「埋文まつり」アンケートでは、参加者の9割以上が「昔の人々の暮らしの跡や使っていた土器などを大切にしたいと思う」と回答しており、事業を通じて関心や理解が図られているためB評価とした。地中に眠る埋蔵文化財の魅力伝えるため、学校と連携した情報発信を進め、子どもから高齢者まで多くの市民が埋蔵文化財に親しむ機会の創出に引き続き務めていく。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに
	重要	自治事務	1,988千円	1,106千円	①来館者人数 ②埋文まつりの参加者数 ③出張事業・講師派遣等の参加者数	文化財公開活用事業への参加者数		郷土の歴史や埋蔵文化財行政を周知することが当該事業の目的であるため、市民の関心や理解度を図る数値として公開活用活動参加者数を指標とする。					新型コロナウイルス感染症の影響などにより開催規模を縮小していた「埋文まつり」を例年規模に戻して実施した。	
	埋蔵文化財普及公開事業	根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)		R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析					事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
		文化財保護法・所沢市文化財保護条例	2,034千円	1,654千円	R5目標値が未達成の理由・分析									
		事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績		R5目標値が未達成の理由・分析							
	期間	埋蔵文化財に対する理解を深めるとともに、郷土の歴史や文化財保護意識を醸成することを目的に実施する。主な内容は、①小中学校を対象とした来館授業・出張授業・職場体験学習等 ②施設見学・講師派遣 ③埋文まつり等の体験型イベント ④最新発掘展示 ⑤外部公共施設等への資料貸出等	0.39人	会年職員等	0.5人	R5目標	R5実績	R5目標値が未達成の理由・分析					どのように貢献したか	
	H6	~	3,121千円	会年職員等	0.5人	8,600人	3,937人	前年度よりも各実績値は上がっているが、コロナ禍前には戻っていないため、引き続き、普及公開事業の充実にも努めていく。					多様な普及公開事業を通じて市民等への情報発信を行い、埋蔵文化財の周知と保護への理解に努めていく。	
		3,152千円	会年職員等	1.8人	R6目標		R6目標値が未達成の理由・分析			評価者	文化財保護課長 稲田 里織			

所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目		
文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名		指標名		目標設定の考え方・根拠		B	令和4年度で史跡整備に伴う発掘調査は終了したため、調査に伴う現地説明会の開催がなく、目標値を達成できなかった。令和6年度以降は、「現地説明会参加者数」を「普及事業参加者数」に変更し、講演会や出土遺物展示などを通じて、「滝の城跡」と発掘調査成果を市民に伝える活動に努めるとともに、史跡整備を進めていく。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに	
	重要	自治事務	4,567千円	4,539千円	①滝の城跡HPアクセス件数		保存会会員数+現地見学者数(団体見学のみ)+現地説明会参加者数		「滝の城跡」を後世に護り伝えていくためには、多くの市民等の関心が必要であることから、保存活動をしている団体の会員数及び見学者(団体)数、また、滝の城跡関連の普及事業参加者数を指標とした。				R5年度に改善した点		
	滝の城跡整備事業	根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)	②発掘調査報告書の延べ販売部数		R4目標		R4実績				R5目標値が未達成の理由・分析		R5年度に改善した点
		文化財保護法・埼玉県文化財保護条例 所沢市文化財保護条例	3,955千円	972千円											11 住み続けられるまちづくりを
		事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合											
		中世城跡の本質的な価値を見出し、計画性のある長期的な整備を進める事により、郷土の貴重な文化財である「滝の城跡」を後世へ護り伝えることを目的に実施する。主な内容は、①保存管理計画の策定 ②史跡指定地内の遺構確認 ③危険箇所の応急的な修繕 ④中世城跡として適切な保存整備 ⑤整備基本計画に基づいた史跡整備	0.42人	0人	実績		250人		145人						事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
	期間	H19 ~	3,361千円		①8,998件		R5目標		R5実績						どのように貢献したか
			0.52人	0人	②41冊		R6目標		R6実績				当初予定していた追加の発掘調査を行う必要がなくなり、現地説明会を実施しなかったため。		豊かな自然と発掘調査成果を活かして、現地を訪れた方が滝の城跡の歴史を感じられるような史跡整備に努める。
			4,202千円				220人								県指定史跡滝の城跡の整備に向けた取り組みを進めた。
															文化財保護課長 稲田 里織
文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名		指標名		目標設定の考え方・根拠		A	目標値は達成しているが、指定文化財の種類により所有者等が負担する経費負担は大きい。所有者等と平時から連絡を密にし、補助金の適正な執行とともに、財政的な援助以外にも市ができる支援はないか、指定文化財の維持管理に努める必要がある。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに	
	重要	自治事務	2,406千円	1,593千円	①管理費等補助件数		所有者(管理者)の申請件数と交付件数の率		指定文化財は市民の個人管理も多く、経費の一部を市が支援することは、指定文化財を良好な状態で保存・管理することにつながるため指標とした。				R5年度に改善した点		
	指定文化財管理費等補助事業	根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)	②修理等補助件数		R4目標		R4実績				R5目標値が未達成の理由・分析		R5年度に改善した点
		所沢市文化財保護条例、所沢市文化財等保存事業費補助金等交付要綱	2,273千円	1,564千円											11 住み続けられるまちづくりを
		事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合											
		市内に所在する指定文化財を保存・管理し、これを良好な状態で後世に継承するために実施する。主な内容は、①市指定文化財の所有(管理)者が補助金の交付申請をする ②文化財等保存事業費補助金等交付要綱に基づき交付 ③実績報告により管理状況を確認する	0.23人	0.3人	実績		100.0%		100.0%						事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
	期間	S56 ~	1,840千円		①62件		R5目標		R5実績				目標達成済		どのように貢献したか
			0.26人	0.1人	②申請なし		R6目標		R6実績						指定文化財管理費を補助することで、指定文化財を良好な状態で維持、保全し後世へ伝えていく必要がある。
			2,101千円				100.0%								文化財保護課長 稲田 里織
文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名		指標名		目標設定の考え方・根拠		A	埋蔵文化財調査センターは開設から30年が経過し、施設の老朽化による不具合が年々増加している。今後も必要箇所を見極めた上で、計画的な修繕を進めていく。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに	
	重要	自治事務	9,292千円	9,067千円	①施設利用者数(来館者人数+埋文まつり参加者数)		年間の施設修繕件数		来館者等の安全管理及び収蔵資料を後世に伝えていくために適正な施設管理を行うことが目的であるため、計画的な施設修繕が遂行できているか、修繕実施数を指標とした。				R5年度に改善した点		
	埋蔵文化財調査センター施設管理事業	根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)	②年間開館日数		R4目標		R4実績				R5目標値が未達成の理由・分析		R5年度に改善した点
		文化財保護法・埼玉県文化財保護条例・所沢市文化財保護条例	12,082千円	9,276千円											10 人や国の不平等をなくそう
		事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合											
		来館者等の安全管理とともに、発掘調査による出土遺物など収蔵資料を永年にわたって整理・保存し、埋蔵文化財に関する各種情報を後世に伝えるとともに広く提供する施設として、安全かつ適正に管理するために、施設管理業務委託等による各種点検を着実に実施し、修繕箇所を見極めて必要な修繕を実施する。	0.64人	0人	実績		6件		4件						事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
	期間	H6 ~	5,121千円		①4,121人		R5目標		R5実績				目標達成済		どのように貢献したか
			0.54人	0人	②248日		R6目標		R6実績						施設の不具合が増えてきているため、引き続き定期的な日常点検を行い不具合の早期把握と優先順位を決めて計画的な修繕の実施に努めていく。
			4,364千円				6件								埋蔵文化財調査センターを適切に管理し、所沢市内に残る遺跡の情報を後世に伝えるとともに、発掘調査で得られた情報を市民に公開する。
															文化財保護課長 稲田 里織